

あやべボラセン ボランティアのわ

No.142

おいかげ

あやべネットワーク
の だ かずひろ

野田 和博さん(47)



あやべネットワークは、聴覚障害者にとって暮らしやすい街になるよう、聞こえる人と聞こえない人が一緒に交流会や学習会などの活動をしています。

今、新型コロナウイルス感染症対策で、マスクが当たり前になっています。でも、マスクがあると相手の表情や口の動きが見えません。“見てわかること”がますます限られる中、お店での買い物の際、会話が聞こえなくて分からな

かった、知ることができなかったことが増えました。そこで、透明の素材を使い、表情や口が見える「ユニバーサル透明マスク」を製作・配布したり、「コミュニケーションボード」をレジに設置してもらおうよう取り組んだりしています。透明マスクを使って「相手の笑顔が見られて安心した」との声ももらいました。誰もが安心して相手とコミュニケーションができるよう活動を進めたいと思います。

情報板

布マスク、お譲りします!! ◆対象 市民・市内のボランティア活動団体

手元にある布マスクの有効活用を目的に、寄付を呼びかけ1,000枚が集まりました。新型コロナウイルス、インフルエンザなどの予防に備えてみませんか？

◆問い合わせ わらしべマスクプロジェクト実行委員会
NPO法人里山ねっと・あやべ ☎47-0040

あやべボランティア総合センター TEL:40-1388 FAX:40-1389